

座長へのご案内

- 座長の方は、セッション開始15分前までに各会場へお越しのうえ、進行係に声を掛けてください。
- 発表時間、質疑応答時間を厳守し、円滑な運営にご協力をお願いいたします。

発表者へのご案内

■発表言語

- シンポジウムおよび一部のミニシンポジウム：英語
 - 一般口演：英語(大会の国際化のため、例外を除き英語での発表をお願いします)
- ※シンポジウム、一般口演とも、討論は英語・日本語どちらでも結構です。

■発表時間

- シンポジウム(ミニシンポジウム含む)は座長の指示に従ってください。
- 一般口演は発表10分、討論5分です。

■発表は各自お持込みのPCを使用したPCプレゼンテーションに限ります

- 本大会の発表は、PCプレゼンテーションに限らせて頂きます。各自ノートパソコンをご用意ください。
- WindowsXP、Windows Vista またはMac OS X 以上が動作し、外部モニター出力端子を備えたPCを使用してください。アプリケーションはPower Point 2003以降をご使用ください。
- SONYのVAIO、Mac等、モニター出力端子の形状が特殊な機種をご使用の場合は、D-sub15ピン用変換アダプターを持参してください。
SONY VAIO Note C1/SR/GT/U等の一部機種や、Apple PB G4、Mac Book Pro等の機種はモニター出力の変換コネクタが必要になります。
- バッテリー切れに備え、必ず発表会場にACアダプターをご持参ください。
- 発表中にスクリーンセーバーが起動したり、省電力モードにならないように設定してください。
- プレゼンテーションデータに静止画・動画・グラフ等のデータをリンクさせている場合は、そのデータも必ず保存していただき、事前に動作確認を行ってください。
- 発表に際し、音声の利用はできません。必要な場合は事前に事務局へご連絡ください。

■発表の流れ

- 発表の60分前までにご自身の発表する会場施設のPCセンター(パシフィコ横浜会議センター3階フォアエ)にて動作・出力チェックをしてください。
- 発表の30分前までに、PCオペレーターデスク(発表会場内、前方向かって左端)へ、ご自身のノートパソコンを提出ください。
- 発表時の操作は、演壇上のモニターとリモートマウスを用いて、発表者ご自身で行ってください。
- 演壇上には計時回線をご用意いたしますので、時間内に完結できるようにご協力ください。
※発表時は緑ランプ、終了1分前は黄ランプ、終了時には赤ランプが点灯します。
- 発表終了後、ご自身のPCをPCオペレーターデスクよりお引き取りください。

D-sub15ピンコネクタ



ポスター発表者へのご案内

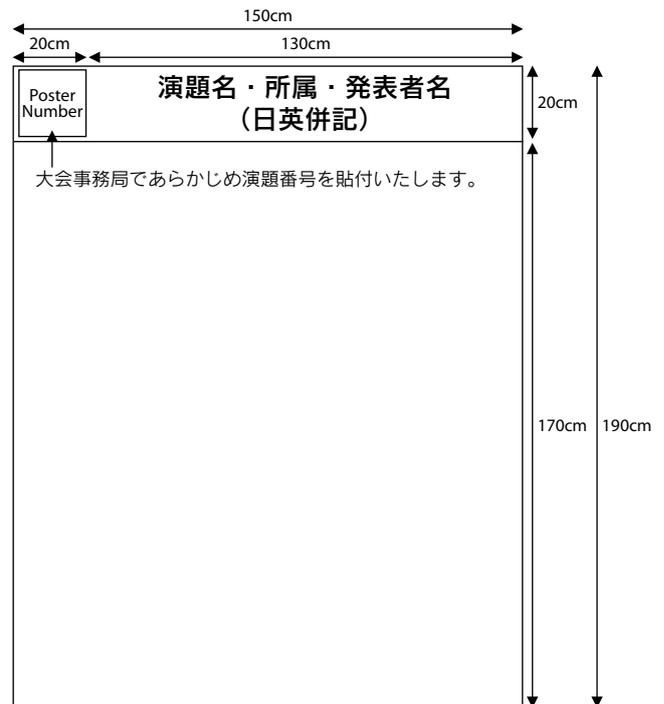
ポスター会場：展示ホールB

【ポスター作成方法】

- ポスターは、貼付パネルのスペース内におさまるように作成してください。貼付パネルのサイズは、右図を参照してください。
- 演題名、所属、発表者名は、英語・日本語併記でご準備いただき、ポスター貼付スペースの上端部に貼付してください。
- ポスターの発表内容(図・説明)は、すべて英語で作成してください。

【発表方法】

- 指定の貼付時間帯にポスター会場内のポスター受付にて受付をお願いいたします。発表者用リボンをお渡しします。
- ポスターは、ご自身の演題番号の位置に、貼付時間内にご自身で貼り付けてください。演題番号は、あらかじめ貼付パネルに表示してあります。演題番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようご注意ください。
- 貼付に必要な画鋏は事務局でご用意いたします。糊・セロハンテープは使用できません。
- ポスター受付でお渡ししたリボンには下記の説明・討論の際には胸につけ、各ポスターパネルの前で参加者の質疑に応じてください(座長による進行ではございません)。
- ポスターは、毎日貼り替えとなります。ポスター撤去にご協力いただきますようお願いいたします。なお、撤去時間後も貼付されているポスターは事務局で即日処分させていただきますのでご了承ください。



発表日	貼付時間	演題番号	説明・討論	撤去時間
9月15日(木)	8:00 ~ 8:30	奇数	11:00 ~ 12:00	17:00 ~ 17:30
		偶数	13:00 ~ 14:00	
9月16日(金)		奇数	11:00 ~ 12:00	
		偶数	13:00 ~ 14:00	
9月17日(土)		奇数	11:00 ~ 12:00	15:00 ~ 15:30
		偶数	13:00 ~ 14:00	

発表資料の配色についてのお願い

日本人男性の5% (約300万人)、白人男性の約8%は、赤や緑の混じった特定の範囲の色について、差を感じにくいという視覚特性を持っています。発表資料作成の際は以下の点にご配慮いただきますよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 2重染色やDNAチップの画像は、緑と赤だけではなく緑と赤紫(マゼンタ)で表示する。
2. 3重以上の染色は、全色の重ね合わせだけでなく重要な2色だけの組み合わせも緑と赤紫で表示する(あるいは各チャンネルの図を別々に表示する)。
3. グラフや解説図では、離れた2カ所の色を照合するのが非常に難しいので、色分けによって各項目の内容や凡例を示すのみでなく、それぞれのグラフ・図に内容・凡例を書き込むこと。また各項目は、色だけでなく線種やシンボルの形、網掛け(ハッチング)などでも区別する。
4. 暗い背景の場合、赤文字や細い青文字は使わず、なるべく白や黄色・オレンジ等を使う。
詳しくは<http://www.nig.ac.jp/color/>をご覧ください。

Request Concerning Use of Color in Presentation Materials

Around 5% of Japanese men (3 million people) and 8% of Caucasian men have a specific type of vision that makes it difficult to distinguish between colors in a particular range, including red and green. In light of this, you are requested to take the following points into account when preparing presentation materials.

1. Images of two-color staining or DNA chips should be displayed in green and magenta, not red and green.
 2. Three or more stains should not be displayed only as composites with all three colors, but also with the two most important colors alone shown in green and magenta. (Alternatively, images of each channel can be displayed separately.)
 3. In graphs and explanatory figures, it is extremely difficult to match colors shown in two separate places. For this reason, do not use only color-coded descriptions or legends for different items, but write them directly into figures. Do not differentiate between items by using different colors, but rather with different types of line, shapes/symbol, or types of hatching.
 4. Red does not appear as a bright, vivid color, so do not use red lettering on a dark background. Fine blue lettering is extremely difficult to read, regardless of color vision. On a dark background, use white, yellow, or orange lettering as far as possible. For further information, see <http://www.nig.ac.jp/color/>.
-
-